

総合農業技術センター試験・研究課題中間評価表

総合農業技術センター課題評価委員会

試験・研究課題名

大課題名：普通作物の優良品種選定（M33～）

小課題名：麦類品種の比較試験（S28～）

担当者名：上野直也

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究の進捗度	3	山梨の小麦の奨励品種が選定できたことは評価する。また、需要ニーズに対応した品種の選抜は試験研究の重要な任務である。
2 研究内容の妥当性	3	本県での麦の作付面積は小さいが、農家指導の立場からこうした研究課題は重要である。
3 研究成果の期待度	3	小麦の作付面積の規模からして農業的に大きく期待できないが、農家支援策の一つとして重要である。
4 研究継続の必要性	3	作物全般について、開発品種の本県への適応調査研究は大切である。また、コムギの場合、大規模な生産が可能な地域での試験についても検討する必要がある。
総合評価	4	山梨の小麦の奨励品種が選定できたことは良いことだと思う。小麦の生産安定と収量アップと品質の安定に期待したい。研究課題名が大きすぎるので、各作物の品目ごとに研究年限を決めて対応すべきである。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

主要農作物の奨励品種選定は、主要農作物種子法で県の試験研究機関での試験が規定されており、今後も各品目の需要に応じた品種選定を実施する。但し、生産者及び実需者のニーズが低いと判断された品目については、一定期間休止する等の措置を行う。